

# 高校生、ものづくりプラン発表

## 浜松工が特別賞

中区



「高校生ものづくりコンテスト2017」(浜松市、静岡理工科大主催)の最終審査

が24日、浜松市中区の地域情報センターで開かれた。

全国21校から92件の応募があり、書類審査を通過した県内外の5校の団体や個人がプレゼンテーションに臨んだ。

県内からは浜松工業高(同市北区)と駿河総合高(静岡市駿河区)が出場した。

浜松工業高は地域のコミュニティ活性化

を考えたプランを説明する。浜松工業高の生徒は浜松市中区の地域情報センター

を目的に、空き家を活用した駄菓子屋を提案。お菓子を食べながらくつろげる和室やウッドデッキなどを設けて子どもと高齢者の交流を生み出すと説明した。駿河総合高は茶を使ったチョコレートで茶産物を発展させるプランを発表した。

最優秀賞には「次世代型AED」のプランを説明した智弁学園和歌山高3年の岡田紗季さんが選ばれた。浜松工業高と駿河総合高は特別賞を受賞した。